

「より良い学校教育」を通して、未来の「より良い龍ヶ岳」を創る！

基本情報

学校

上天草市立
龍ヶ岳小学校・龍ヶ岳中学校

学校運営協議会

龍ヶ岳小・中学校運営協議会
「ドラゴン会議」

平成30年4月1日 設置

委員構成

・地域学校協働活動推進員
・区長代表
・公民館長代表
・地区婦人会長
・市役所支所長
・主任児童委員
・保育園長
・小、中学校PTA会長
など 16名

会議回数

年間3回

地域学校協働活動推進員等数
()は内、学校運営協議会委員数

地域学校協働推進員 1名 (1名)

地域コーディネーター 0名 (0名)

地域学校協働本部

地域学校協働本部
「ドラゴンサポーター会議」

背景・取組概要

- ◆平成23年度に町内3小学校が1校に、2中学校が1校に統合された。町内に1小・1中学校となったことで、小中学校の連携をより一層強化し、子供と地域のつながりを密にした学校づくり、大人と子供がともに輝く地域づくりを目指している。
- そのために、学校教育の中に多様な大人と関わり合う機会を設定することで、子供と地域をつなげ、地域の歴史や良さを知り、郷土を愛する心や誇りに思う気持ちを育み、自分のこれからの生き方を考えることができる子供を育成することを目指している。
- そして、そのことが地域活性化へつながると考えた。
- 「子供と地域のつながりを密にした学校づくり」「大人と子供がともに輝く地域づくり」を目指す。

工夫・ポイント・特徴的な取組

◆学校運営協議会「ドラゴン会議」

小中合同の学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民の学校運営への参画、支援・協力を通して、子供の健全育成を図るために、年3回開催している。直近のテーマは、○通学路の安全確保、○地域人材を活用した学習支援の充実、○あいさつ運動や登下校時の見守り活動の強化、○中学校部活動の地域移行について、などである。令和4年度の学校運営協議会では、児童生徒の代表が参加し、地域行事へ協力したいとの中学生の要望を受け、協議を進めた結果、令和5年度の地域行事に生徒全員がボランティアスタッフとして参加することができた。

◆地域学校協働活動

地域おこし活動の一環として、平成元年に始まった「龍神太鼓」は、平成17年から小中学生も参加するようになった。現在は、小学6年生と中学1・3年生が地域学校協働活動のひとつとして取り組み、その成果を学習発表会や地域行事の中で披露して、保護者や地域の方々から喜ばれている。令和3年に、保護者や地域の女性たちで「龍神太鼓女性会」をつくるなど、龍神太鼓が地域を盛り上げる活動のひとつとなっている。地域学校協働活動推進員は、太鼓の指導から披露の場の設定など、学校とも連携しながら積極的に取り組んでいる。

◆コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施「ドラゴンサポーター会議」

地域学校協働本部は、学校運営協議会委員、保護者、地域住民、教職員がメンバーとなり、「安全部会」「地域部会」「学習部会」の3部会に分かれて、年2回開催している。学校運営協議会で協議されたことを含め、地域学校協働活動の充実や学校の課題解決に向けた具体的な方策を話し合う。直近の議題は、○危険個所の整備について、○地域スポーツクラブの推進について、○朝の読み聞かせの充実について、○職場体験学習への協力について、などである。



地域行事のオープニングで龍神太鼓を披露する中学生



地域学校協働本部(ドラゴンサポーター会議)の安全部会

成果・効果

- ◆地域住民に地域学校協働活動の趣旨や具体的な取組についての理解が広まり、家庭や地域と学校の連携・協働が年々進んでいる。
- ◆地域学校協働活動を通して、子供たちが幅広く地域の方々に接し、多様な体験や活動をすることで、郷土を愛する心や地域に貢献できる大人になりたいという気持ちが育成されている。保護者や地域住民も、子供たちの日常の姿から、たくましく成長していることを感じている。

学校評価の比較 4段階評価 最高4.0		家庭や地域との 連携協力		郷土愛の育成や キャリア教育の推進	
		R2	R5	R2	R5
小学校	CS委員	3.4	3.6	3.4	3.8
	保護者	2.5	3.3	3.2	3.4
中学校	CS委員	3.5	3.7	3.2	3.5
	保護者	3.2	3.4	3.1	3.2